

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人：税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

◇ムダな設備を発見しよう

Q：当社は、数年前に設備投資を行いました。その設備が生産や売上にどれほど貢献しているのを見る方法を教えてください。

A：土地建物、機械装置など固定資産が稼働して、生産や売上にどれだけ貢献しているのを見る指標として、固定資産回転率があります。次の手順で計算してみてください。

(1)固定資産を出す

$$\text{固定資産} = \text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} + \text{投資}$$

(2)固定資産回転率を出す

$$\text{回転率} = \text{売上高} \div \text{固定資産}$$

(3)固定資産回転期間を出してみる

$$\text{回転期間} = 12 \text{カ月} \div \text{固定資産回転率}$$

【分析】

- (1)企業には、機械設備が多い資本集約型と、設備投資が少ない労働集約型とがあります。資本集約型の場合、固定資産の生産性を重視しますので、この比率に注目する必要があります。
- (2)過剰設備や遊休施設があると回転率は悪化します。早くその原因を突きとめましょう。
- (3)設備投資の負担軽減のために、リース方式で設備を利用する方法があります。料金や保守費用の負担と契約期間が問題となりますが、身軽な経営にして回転率を高めることができます。
- (4)固定資産回転率の平均は、次のようになっています。

製造業… 5 建設業…10 卸売業…18

小売業…12 飲食業… 5

